



株式会社インフォネット

STOCKCODE:4444

2023年 3 月期 通期決算説明資料



ONE STOP SERVICE
InfoNet Inc. All Rights Reserved.

1. 当社の事業と私たちの社会的使命 p.3
2. TOPICS p.9
3. 2023年3月期 通期決算概況 p.15
4. SUMMARY p.35
5. 2024年3月期 業績予想と主な活動方針 p.38

1. 当社の事業と 私たちの社会的使命

ONE STOP SERVICE

調査・分析からデザイン・システム
開発、運用サポートまで一貫して行う
ワンストップサービスで
安定性の高いサービスの提供



7年連続
シェアNo.1
SaaS型CMS市場において
日本でもっとも選ばれている
オールインワン商用CMS
オールインワンコンテンツ管理システム
infoCMS 10

※出典:TRITON Market ViewECサイト構築・CMS・CMS関連サービス市場2022|SaaS型CMS市場ベンダー別売上金額推移およびシェア(2010~2022年度予測)

主に中堅企業～大手企業・公共団体から
支持され、コーポレートサイトを中心に
制作実績**1,300**サイト以上。※2

(infoCMS導入実績**500**サイト以上。※2)

※2 当社調べ

01



RESEARCHING & ANALYZING

調査・分析

02



PLANNING & PRODUCING

企画・プロデュース

03



WEB DESIGN
SYSTEM DEVELOPMENT

WEBデザイン構築
システム開発

05



MEASURING & IMPROVING

効果測定・改善施策

04



OPERATION SUPPORT

運用サポート

プラスαの
成果創出へ

私たちの社会的使命

コーポレートサイトをプラットフォームとした

業務改善DX・Webマーケティングを総合的に支援し、

顧客事業価値を創造し最大化することが、私たちの社会的使命です。

1. グループ概要

商 号	株式会社インフォネット（英語表記：infoNet inc.） <証券コード：4444>		
所 在 地	本 社	東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア ウェストタワー2F	
	福井支社	福井県坂井市丸岡町ソフトパークふくい 7-1-21	
	佐賀支社	佐賀県佐賀市中の小路 1-14 佐賀新聞中央ビル4F	
	大阪支社	大阪府大阪市中央区南本町2-4-16本町デビスビル7F	
設立年月日	2002年10月15日	資 本 金	28,589万円
代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員	日下部 拓也	従業員数	単体94名 連結135名（2023年3月末現在）
事業内容	Webサイト構築 CMSサイト構築 システム開発 ホスティングサービス ASPサービス 広告デザイン・印刷 映像制作		

商 号 株式会社アイアクト <非上場>

設立年月日 1999年6月18日 資 本 金 1,900万円

代表取締役社長 笠井 隆義

事業内容

- ・ サイト制作・運用、CMS構築・運用
- ・ コンテンツマーケティング&プロモーション
- ・ Web戦略立案&コンサルティング
- ・ データ&アナリティクス
- ・ WatsonやAIを活用したプロダクト開発
- ・ AI導入支援
- ・ AIチャットボットサービス、検索サービス

商 号 株式会社デロフト <非上場>

設立年月日 2022年4月1日 資 本 金 1,000万円

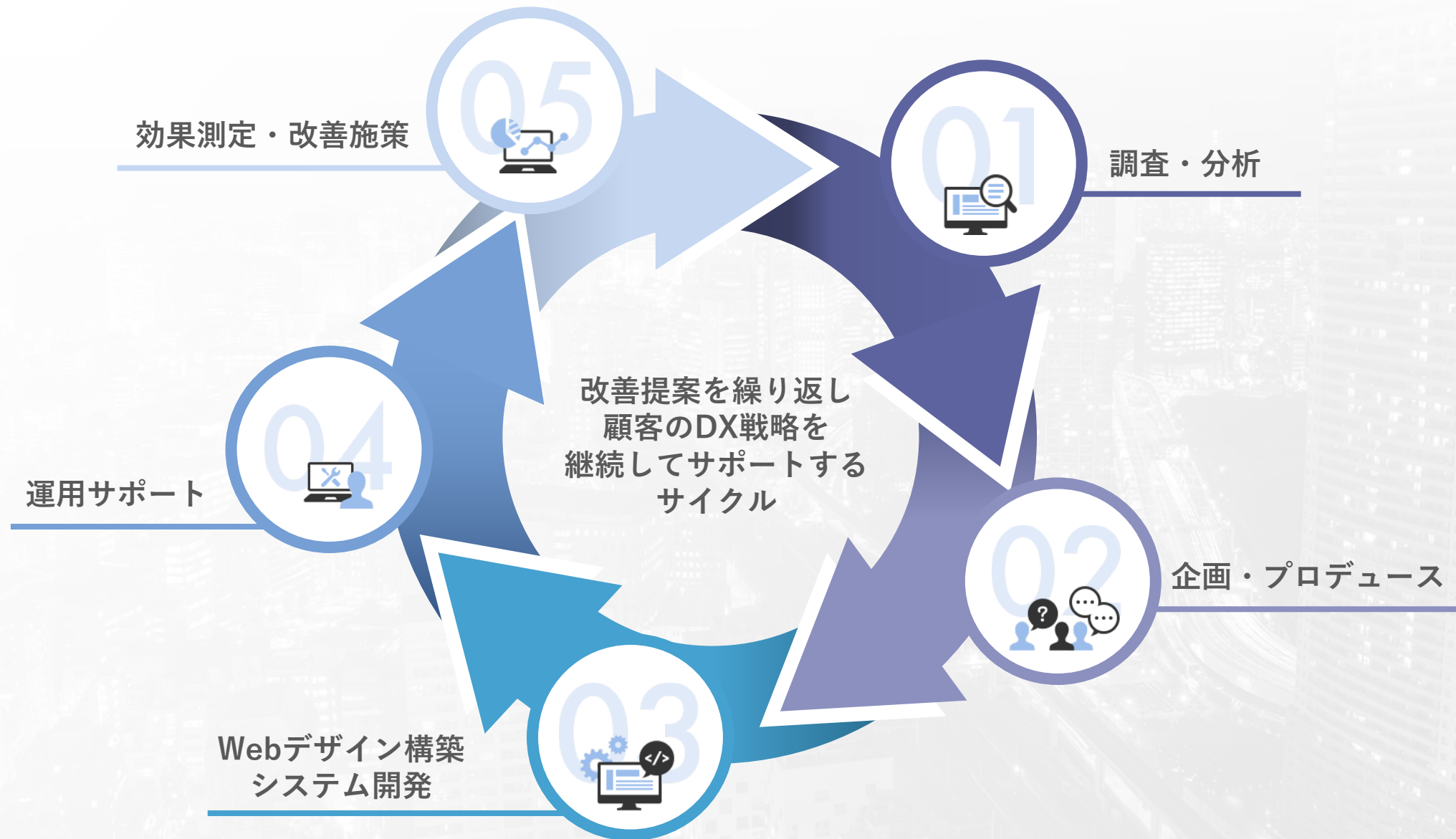
代表取締役 山田 篤

事業内容

- ・ アイデアの商品化に関する企業への情報提供サービス
- ・ ウェブサイト、ウェブコンテンツおよびアプリに関する企画、デザイン、開発、制作、管理および運営
- ・ 各種システム、ソフトウェアの企画、開発および販売 等

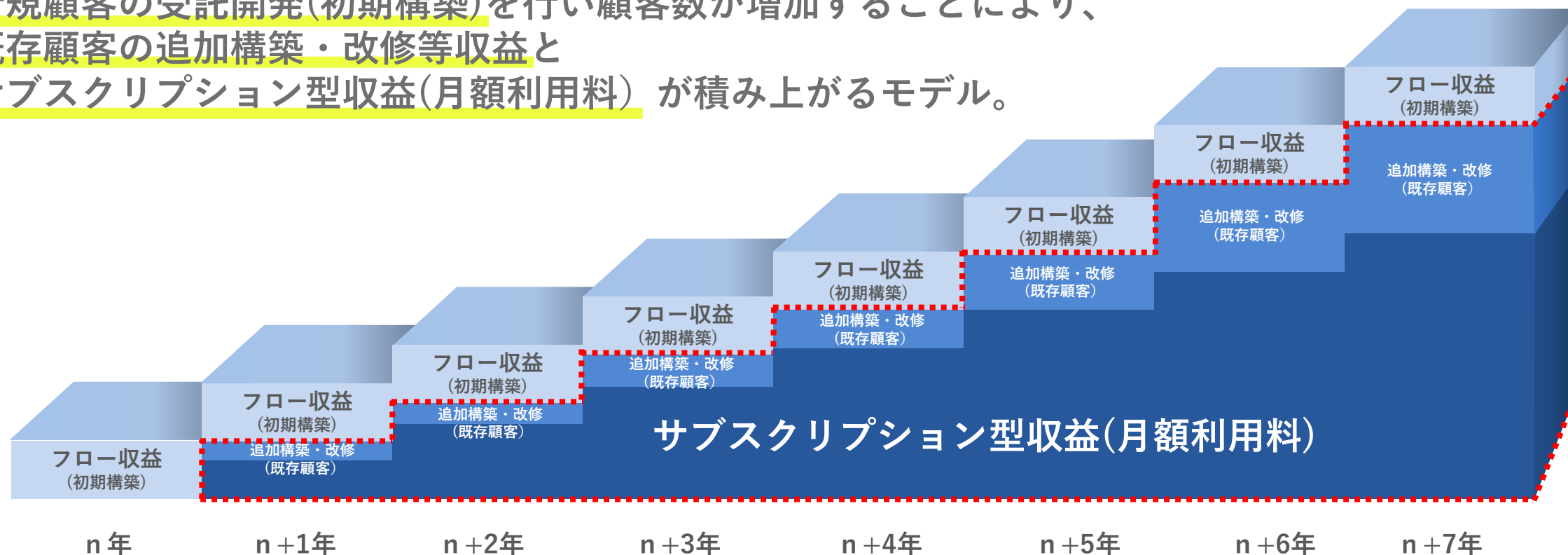
※株式会社デロフトは2023年3月期より連結対象です。

1. ビジネスモデル



当社の収益構造

新規顧客の受託開発(初期構築)を行い顧客数が増加することにより、
既存顧客の追加構築・改修等収益と
サブスクリプション型収益(月額利用料) が積み上がるモデル。



2. TOPICS

2023年3月期トピックス

プロダクト・サービス関連

2022.11

infoCMSがSaaS型CMS市場 7年連続シェアNo.1を獲得



2023.1



Google Analytics4連携型Webサイト
アクセス分析ツール「MEGLASS finder
(メグラス ファインダー)」リリース
→リリース後3か月で導入サイト100突破

👉 クローズアップ P.13

👉 クローズアップ P.12

APR

MAY

JUN

JUL

AUG

SEP

OCT

NOV

DEC

JAN

FEB

MAR

2022.5



AIチャットボット「Cogmo Attend」
と機械翻訳を連携し、複数言語の
自動応答も可能とする多言語
チャットボットを追加開発。

2022.9



神戸市が運営する複数サイトに
AI探索によるサイト横断検索を
導入し、問合せ対応の効率化や
市民の求める情報を素早く提供
する取り組みを支援。

2023.2



小林製薬コールセンターで、
業務効率化を目的に採用。
AI検索と音声認識を連携し
マニュアルやFAQの自動検索を実現。

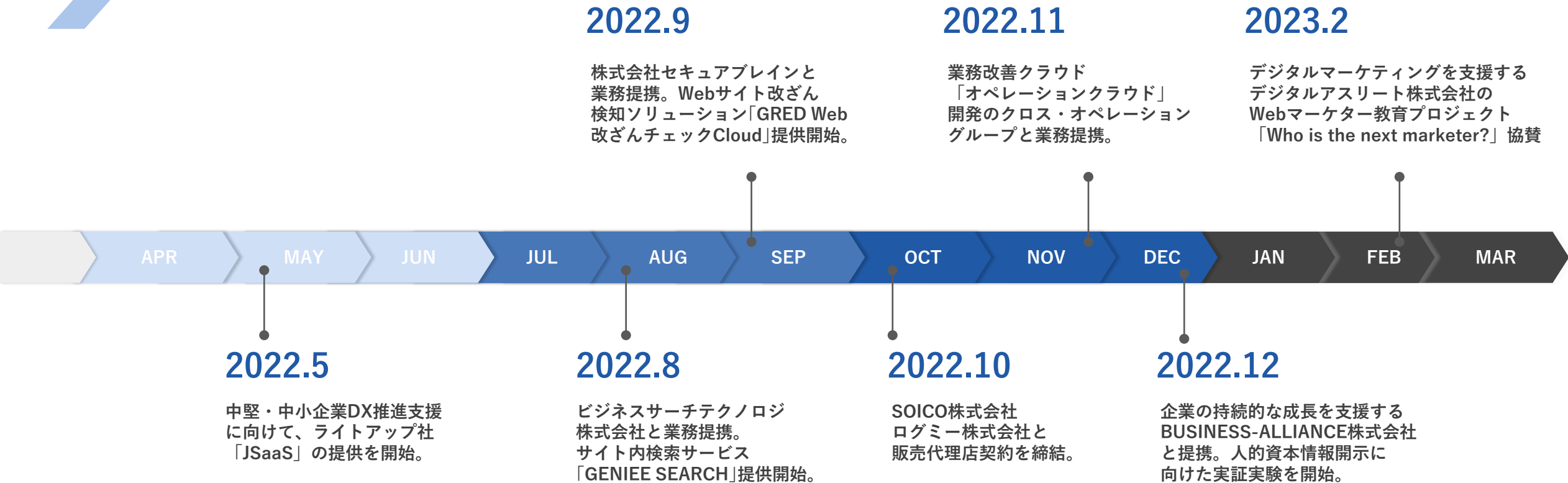
2023.3



「Cogmo Search」にChatGPTを連携。
企業ごとの最新情報や非公開業務
マニュアル、FAQにも活用が可能に。
(2023.4.28サービス開始)

👉 クローズアップ P.14

アライアンス関連



1

インフォネット

infocms® SaaS型CMS市場において 7年連続シェアNo.1※を獲得しました。

当社の主力製品であるオールインワン商用コンテンツ管理システム「infoCMS」が株式会社アイ・ティー・アールが発行する市場調査レポートにおいて、SaaS型CMS市場のベンダー別売上金額推移およびシェアで7年連続シェアNo.1※を獲得しました。



2

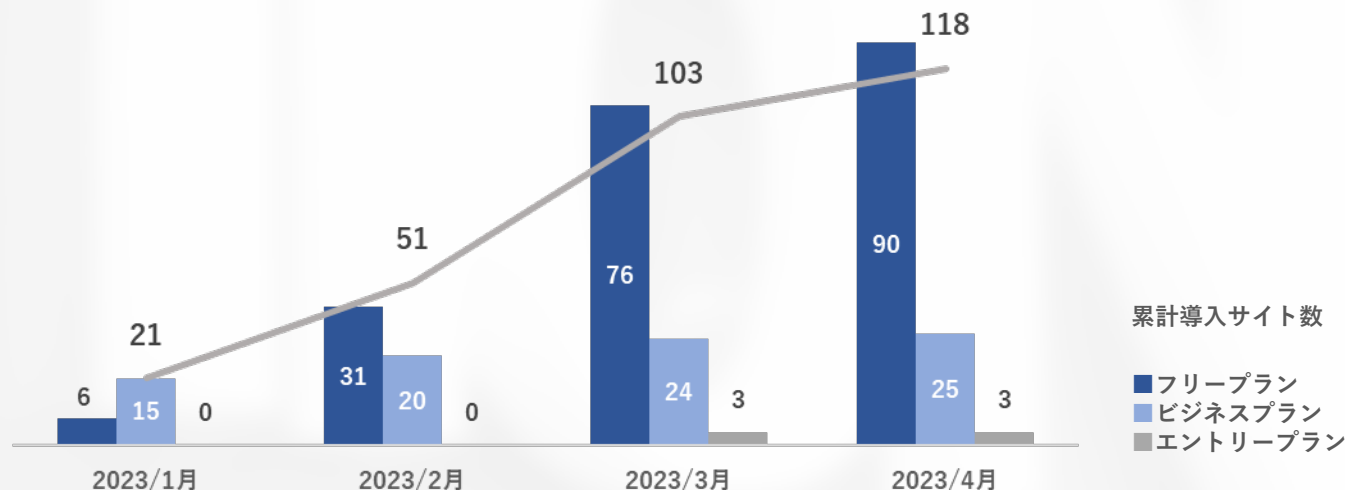
 MEGLASS finder

2023年1月リリース

インフォネット

リリース 3 か月で導入サイト100突破 (4月末時点118サイト)

Google Analytics 4 連携型Webサイトアクセス分析ツール「MEGLASS finder(メグラス ファインダー)」が2023年3月時点で導入サイト数100を突破、現在も導入数を伸ばしています。
2023年7月1日にユニバーサルアナリティクスが停止される背景と、専門知識がなくても簡単に分析できる特徴がお客様のニーズにマッチし、多くの導入に繋がっていると考えています。

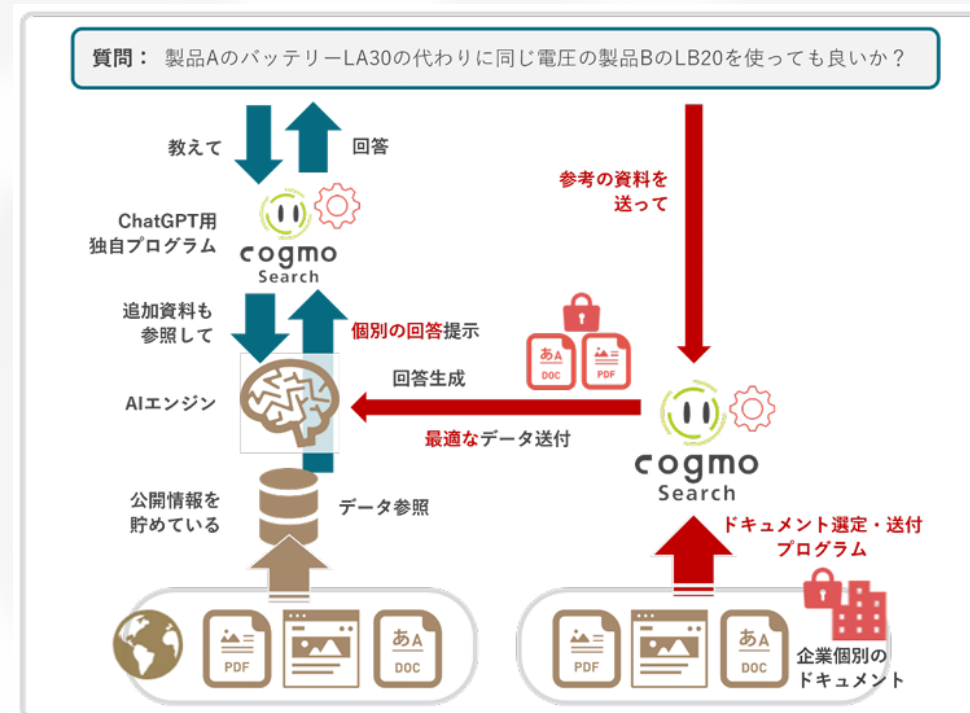


3

アイアクト

AI検索「Cogmo Search」にChatGPTを連携 企業ごとの最新情報や非公開業務マニュアル、FAQにも活用が可能な

業務活用に期待が高まるChatGPTなどの文章生成AIは、公開情報のみを取得し回答するため、非公開である企業ごとの業務に関する質問は学習することが出来ず、答えを生成することが不可能でした。しかし本連携により、非公開情報でも最適な参考資料を選定しセキュアに送付、ChatGPTの要約文と、Cogmo Searchの検索結果を同時提示し、利用者の自己解決と満足度を向上を可能にしました。



Cogmo Search と ChatGPT の連携イメージ

3. 2023年3月期 通期決算概況

3. 2023年3月期 通期決算概況 TOPICS

1

受注/開発体制の見直し、管理体制の効率化等
黒字化戦略が成功し、利益額および利益率が大幅改善

2

黒字化戦略の一環で昨年度受注を一部制限したため
フロー収益は前期比ダウンとなるも、利益は前期比大幅プラス

3

受注活動は通常に戻り受注高回復
(infoNet 前期比 4Q + 72.5% , 通期 + 18.9%)

3. 2023年3月期 通期決算概況

売上総利益

前期比(4 Q累計)

(連結) +141,017千円

(infoNet単体) +123,790千円

売上総利益率

前期比(4 Q累計)

(連結) +9.20pt

(infoNet単体) +13.51pt

営業利益

前期比(4 Q累計)

(連結) +184,304千円

(infoNet単体) +197,606千円

営業利益率

前期比(4 Q累計)

(連結) +10.81pt

(infoNet単体) +20.80pt

総売上高

前期比(4Q累計)

(連結) ▲43,587千円

前期比 ▲2.5%

(infoNet単体) ▲11,239千円

前期比 ▲1.2%

(月額収益)

ストック収益

前期比(4Q累計)

(連結) +93,483千円

前期比 +12.0%

(infoNet単体) +21,840千円

前期比 +4.7%

3. 2023年3月期 通期決算概況

Web/CMS 関連事業

売上高 前期比(4Q累計)

(連結) ▲89,584千円

前期比 ▲5.7%

(infoNet単体) ▲12,649千円

前期比 ▲1.3%

AI 関連事業

売上高 前期比(4Q累計)

(連結) +45,997千円

前期比 +26.0%

(infoNet単体) +1,410千円

前期比 +18.2%

売上高実績 グループ内訳（前期比）

グループ全体

▲43,587千円の減少(前期比▲2.5%)

infoNet単体

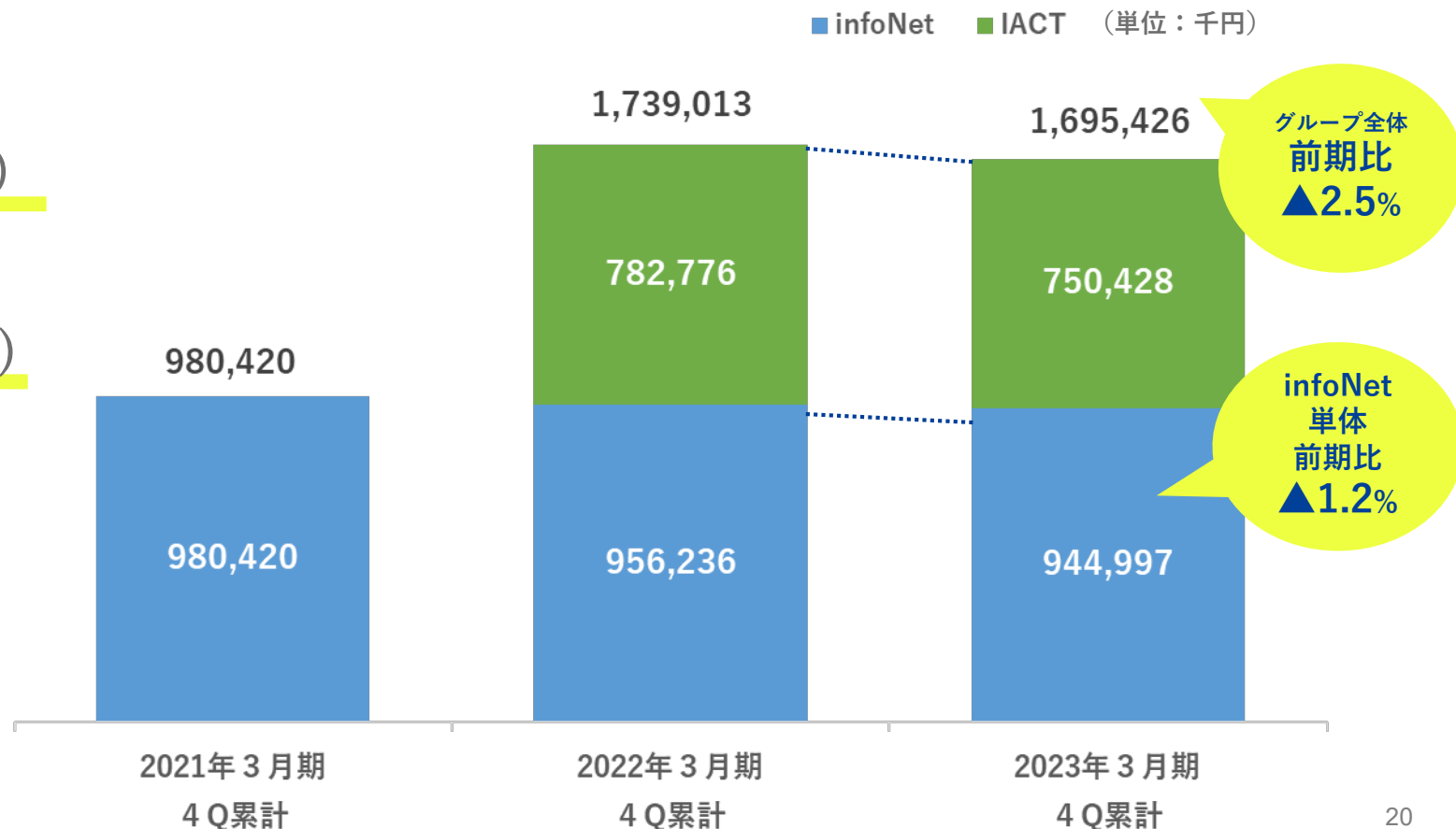
▲11,239千円の減少(前期比▲1.2%)

※デロフトにおいては売上発生なし。

※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、
2022年3月期より進行基準に変更しております。

※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外で
あるため開示は差し控えさせていただきます。

※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を
含みます。（2022年3月期より吸収合併）



売上高実績 ストック/フロー内訳（前期比）

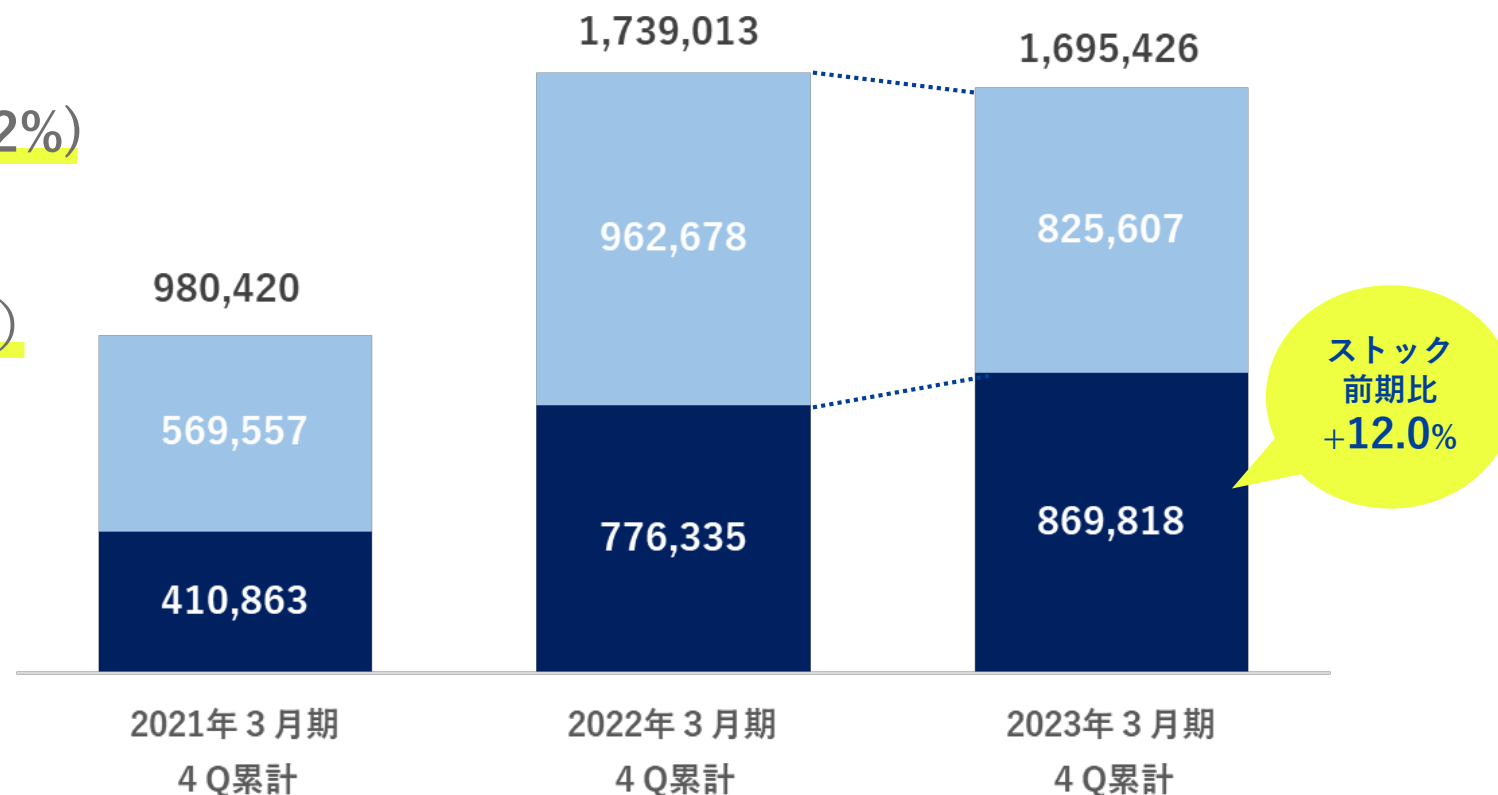
■ ストック（月額収益） ■ フロー（受託開発）（単位：千円）

フロー（受託開発収益）

▲137,070千円の減少（前期比▲14.2%）

ストック（月額収益）

+93,483千円の増加（前期比+12.0%）



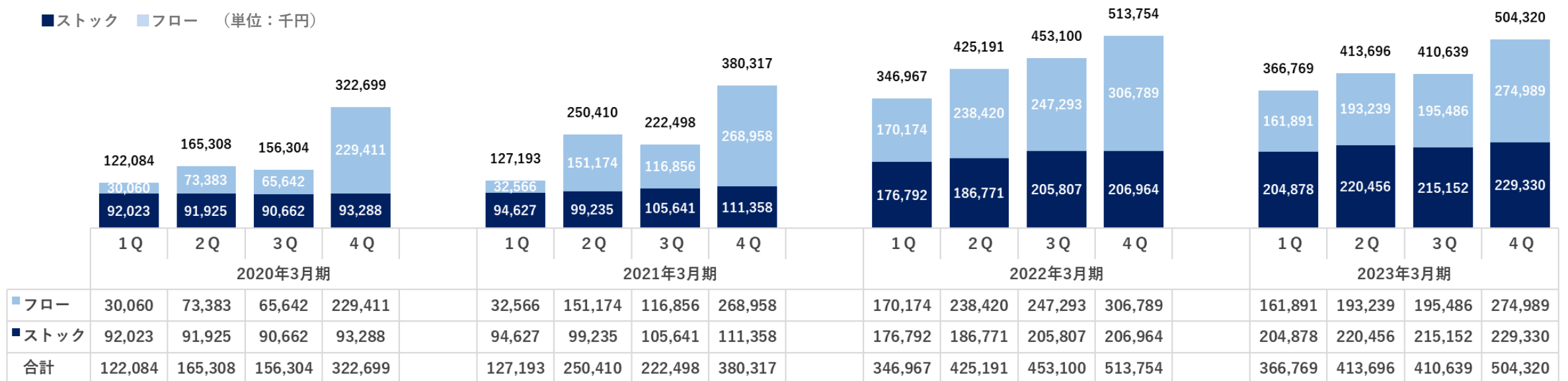
※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、2022年3月期より進行基準に変更しております。

※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外であるため開示は差し控えていただきます。

※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を含みます。（2022年3月期より吸収合併）

売上高推移 ストック/フロー内訳

4Qにフロー売上が集中する偏重傾向は例年通り。一部受注を制限し赤字案件の整理を優先しながら、インフォネットおよびアイアクトにおいては概ね見通し通りに着地。



※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、2022年3月期より進行基準に変更しております。

※2022年3月期以降は子会社の業績を含む連結業績です。

※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を含みます。(2022年3月期より吸収合併)

Web/CMS

フロー収益実績 (前期比)

(受託開発)

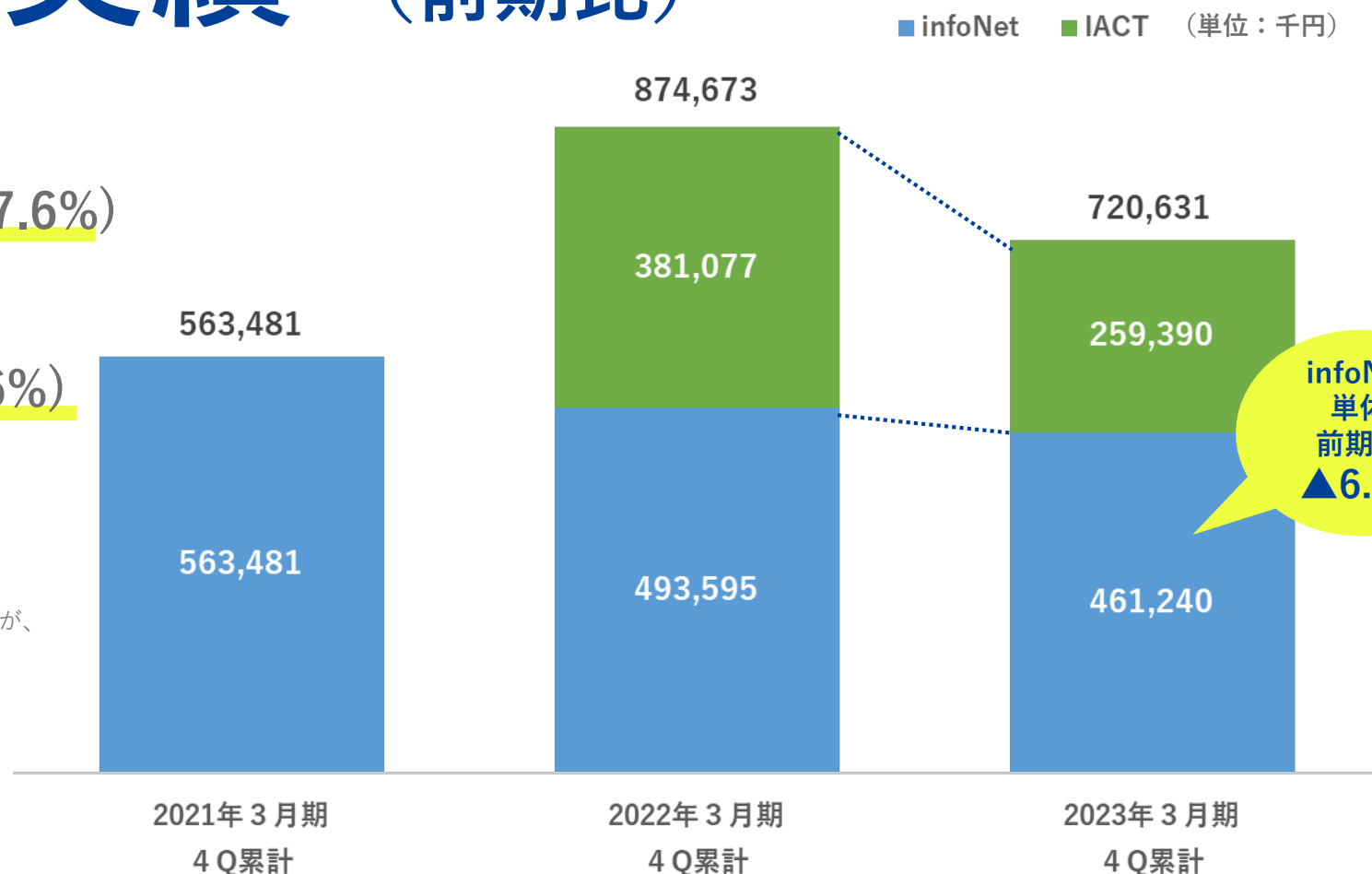
グループ全体

▲154,042千円の減少(前期比▲17.6%)

infoNet単体

▲32,356千円の増加(前期比▲6.6%)

※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、
2022年3月期より進行基準に変更しております。
※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外で
あるため開示は差し控させていただきます。
※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を
含みます。(2022年3月期より吸収合併)



AI

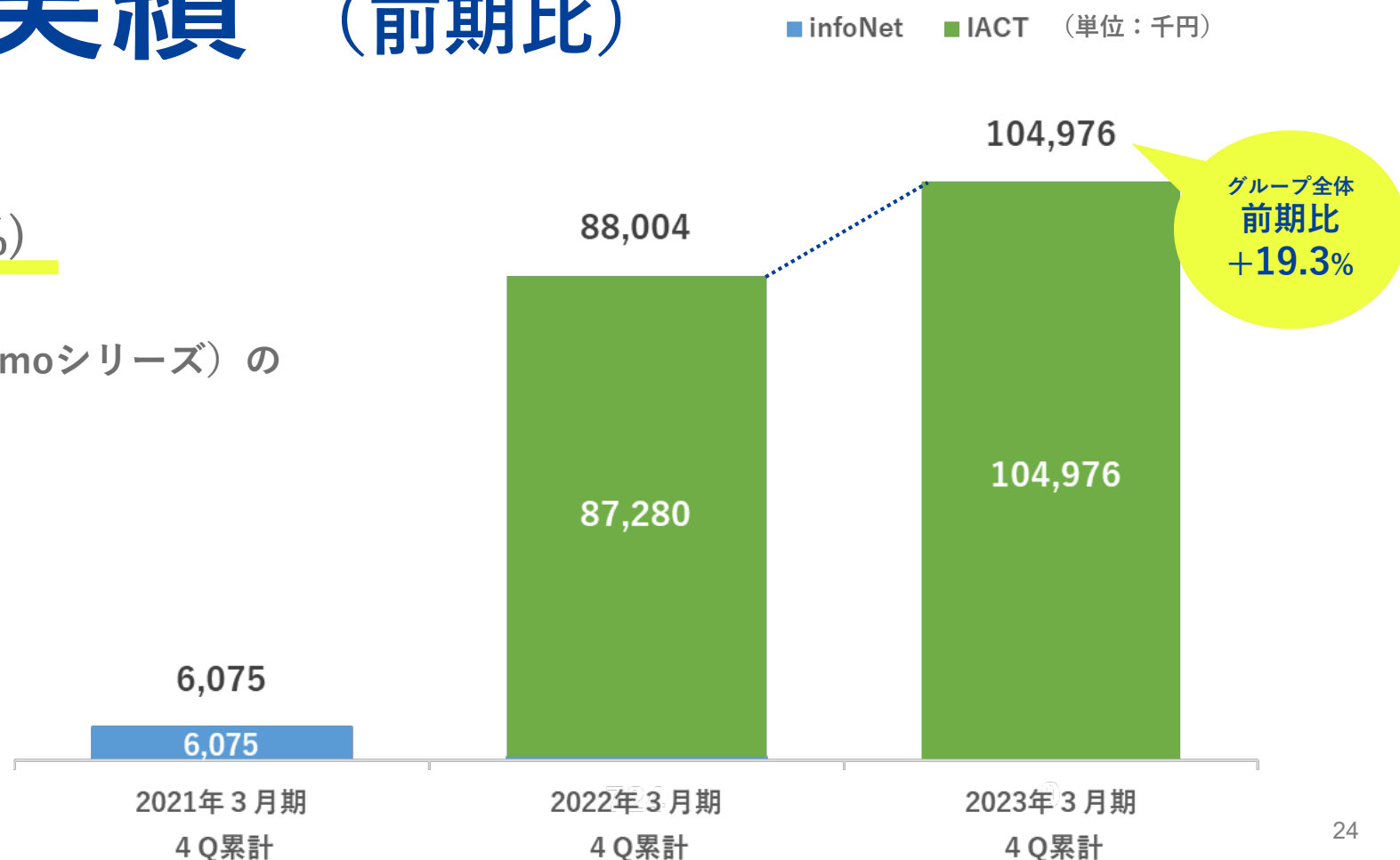
フロー収益実績 (前期比)

(受託開発)

グループ全体
+16,972千円の増加(前期比+19.3%)

アイアクトの強みであるAIプロダクト(Cogmoシリーズ)の
受託開発売上が堅調に推移。

※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、
2022年3月期より進行基準に変更しております。
※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外で
あるため開示は差し控えさせていただきます。



3. 2023年3月期 通期決算概況

Web/CMS

ストック収益実績

(月額収益)

(前期比)

グループ全体

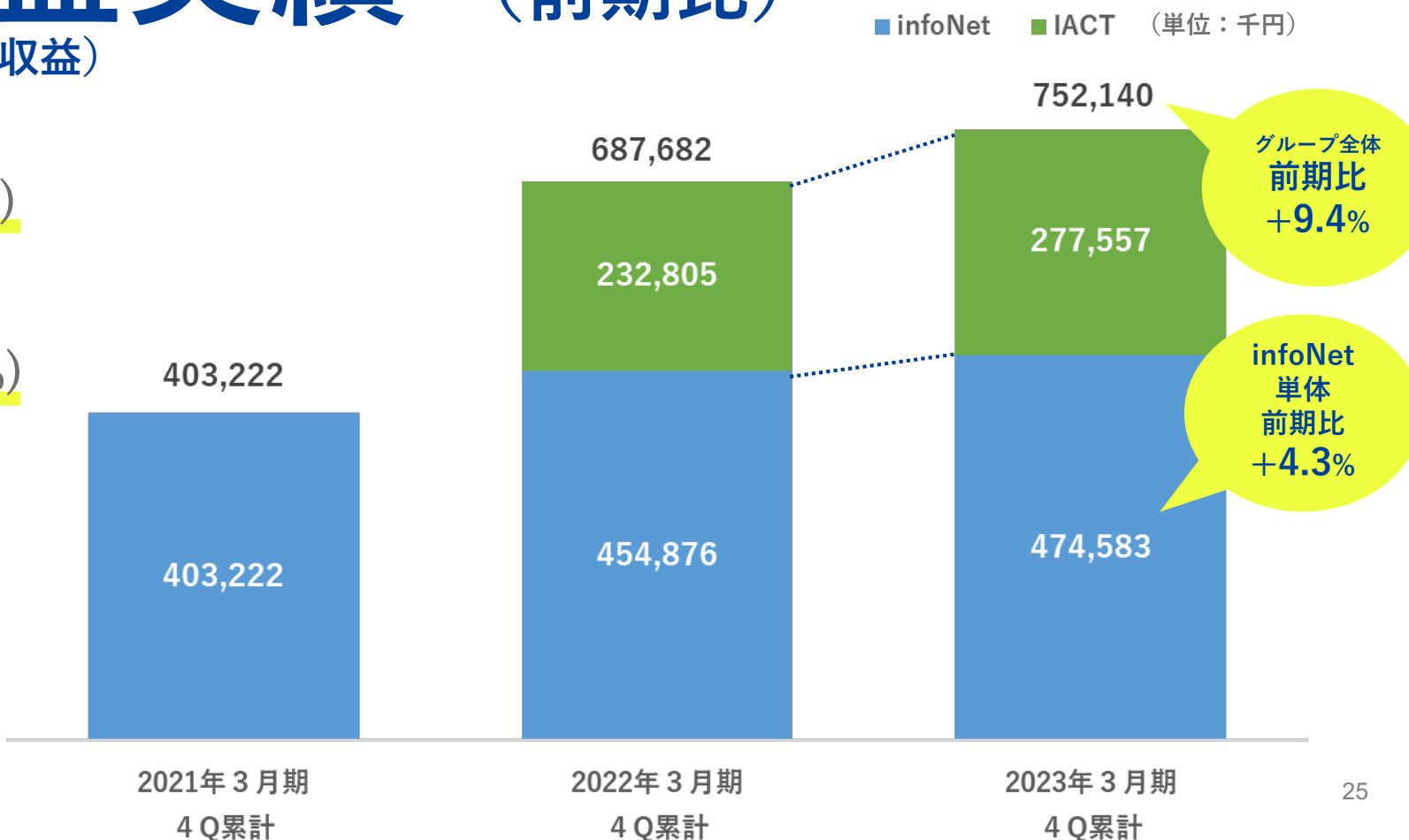
+64,458千円の増加(前期比+9.4%)

infoNet単体

+19,706千円の増加(前期比+4.3%)

infoNet、アイアクトとも堅調に推移。

※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外であるため開示は差し控させていただきます。
※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を含みます。(2022年3月期より吸収合併)



AI

ストック収益実績 (前期比)

(月額収益)

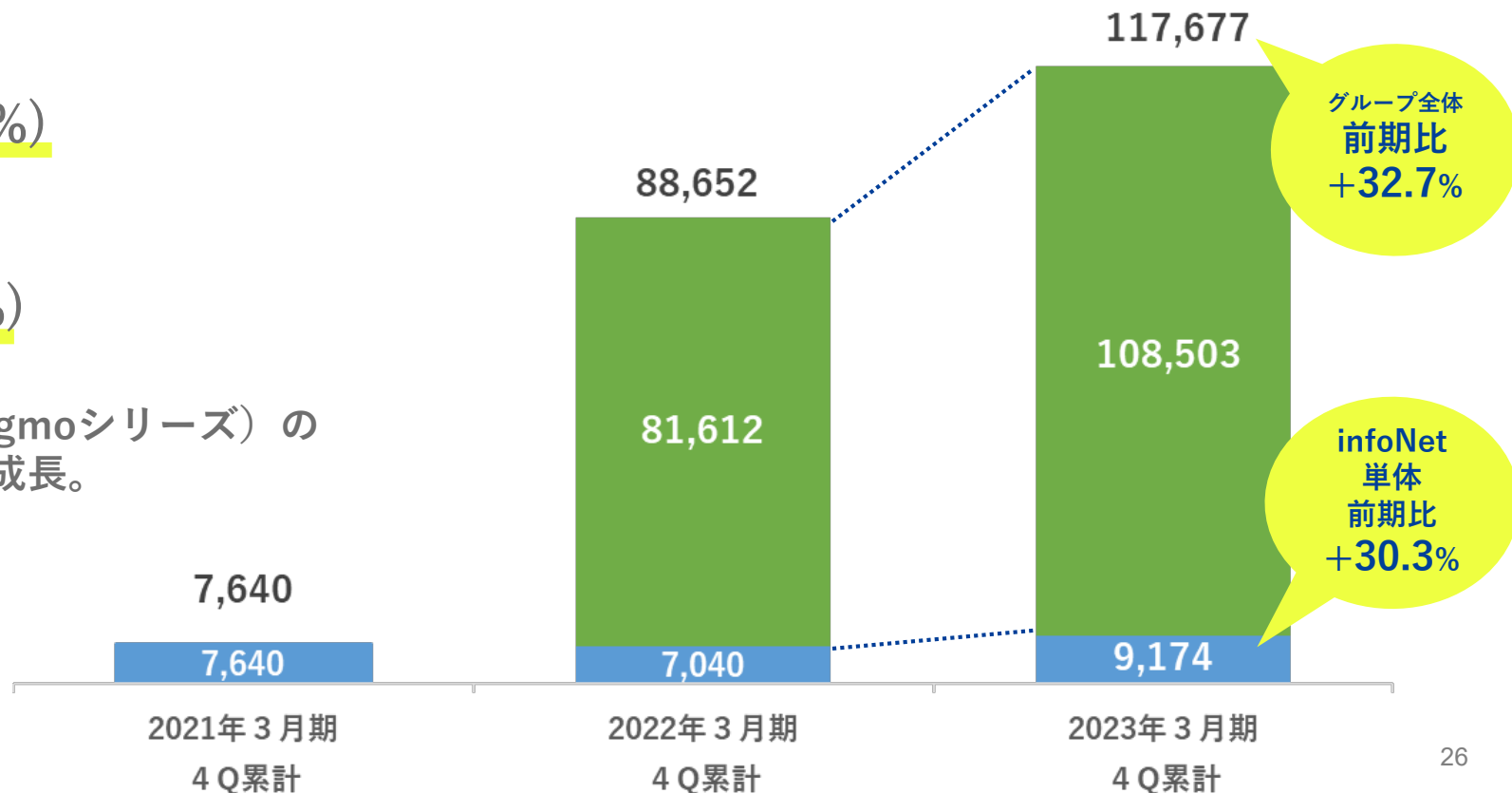
■ infoNet ■ IACT (単位：千円)

グループ全体
+29,025千円の増加(前期比+32.7%)

infoNet単体
+2,134千円の増加(前期比+30.3%)

アイアクトの強みであるAIプロダクト(Cogmoシリーズ)の
売上実績によりグループ全体では+32.7%成長。

※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外であるため開示は差し控えさせていただきます。

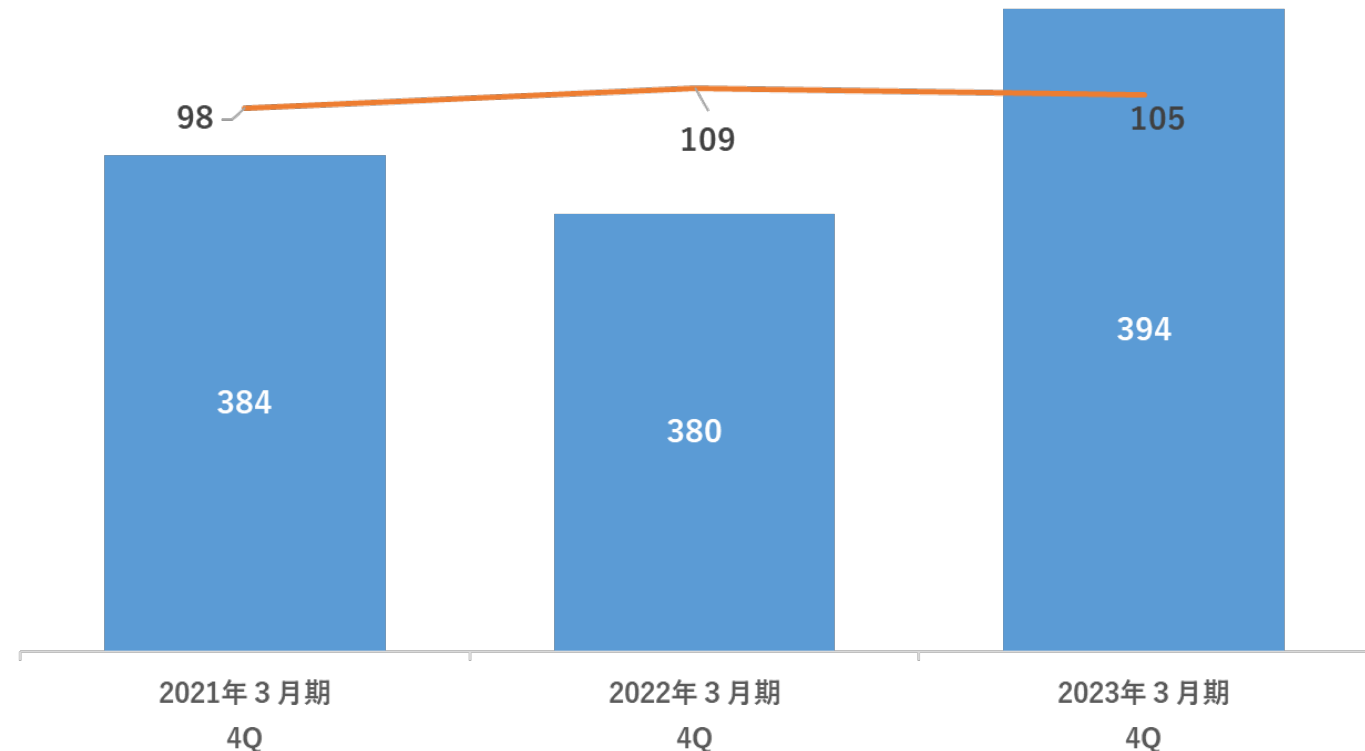


ストック収益請求社数推移 (Q/Q)

(月額収益)

■ ストック請求社数 (infoNet単体) ● ストック月平均単価 (infoNet単体)
(単位：千円)

前期に対し +14社。



受託開発受注高実績 (Q/Q)

■infoNet 1Q ■infoNet 2Q ■infoNet 3Q ■infoNet 4Q ■IACT 1Q ■IACT 2Q ■IACT 3Q ■IACT 4Q (単位：千円)

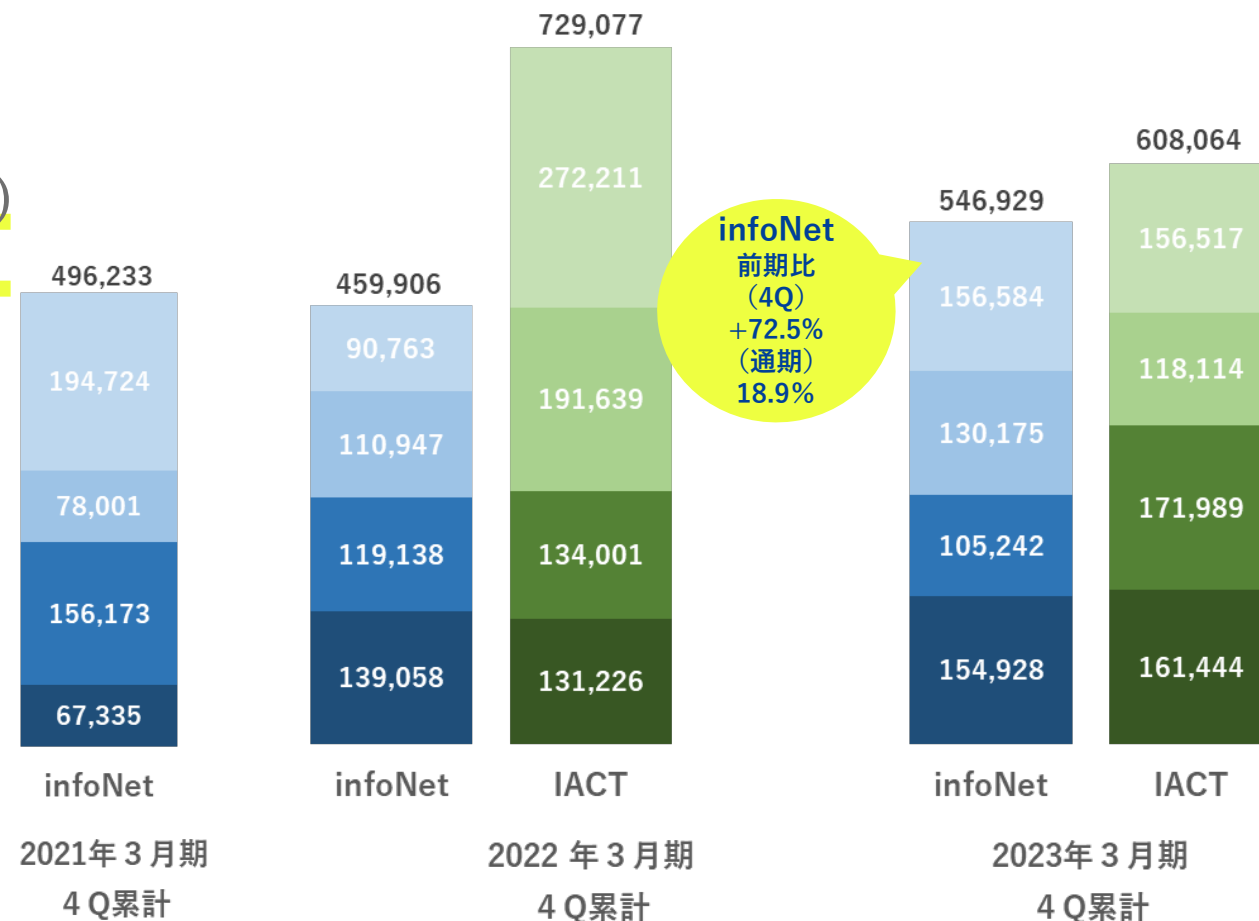
infoNet単体

(通期) +87,025千円の増加(前期比+18.9%)

(4Q) +65,821千円の増加(前期比+72.5%)

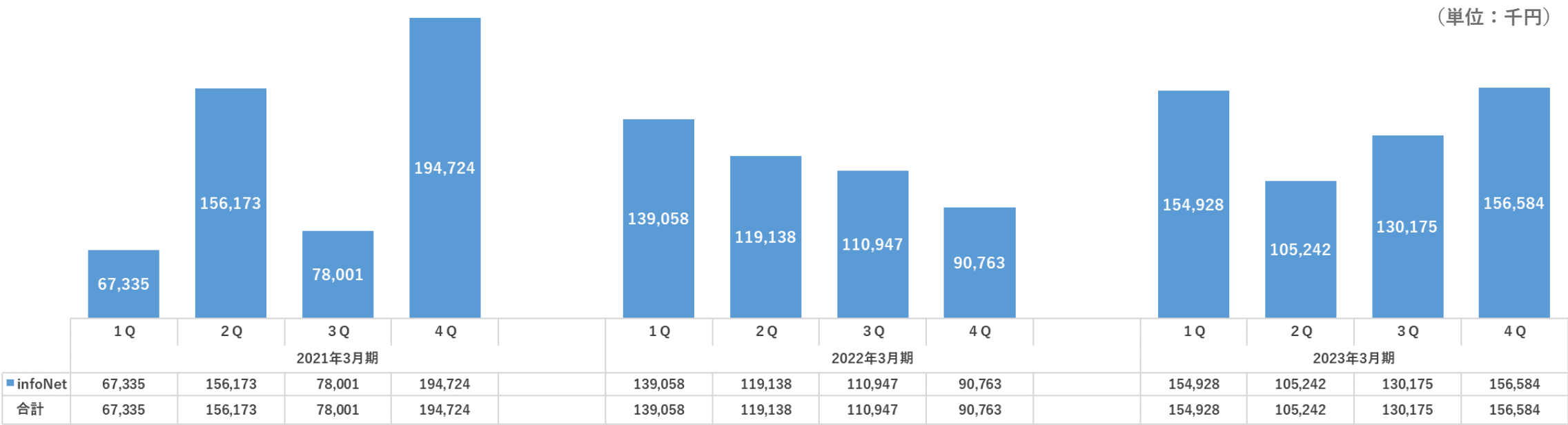
※アイアクトの受託開発受注高には運用保守の受注高が含まれるため参考値

※2021年3月期以前のアイアクトの実績は連結対象期間外であるため開示は差し控えさせていただきます。



受託開発受注高推移 (infoNet)

赤字案件の整理に優先順位を置き一部受注を制限した前期に対し、赤字脱却が完了し今期より受注活動は順調に回復。4Qは前期比+72.5%で着地、2024年3月期へ受注残を持ち越す。



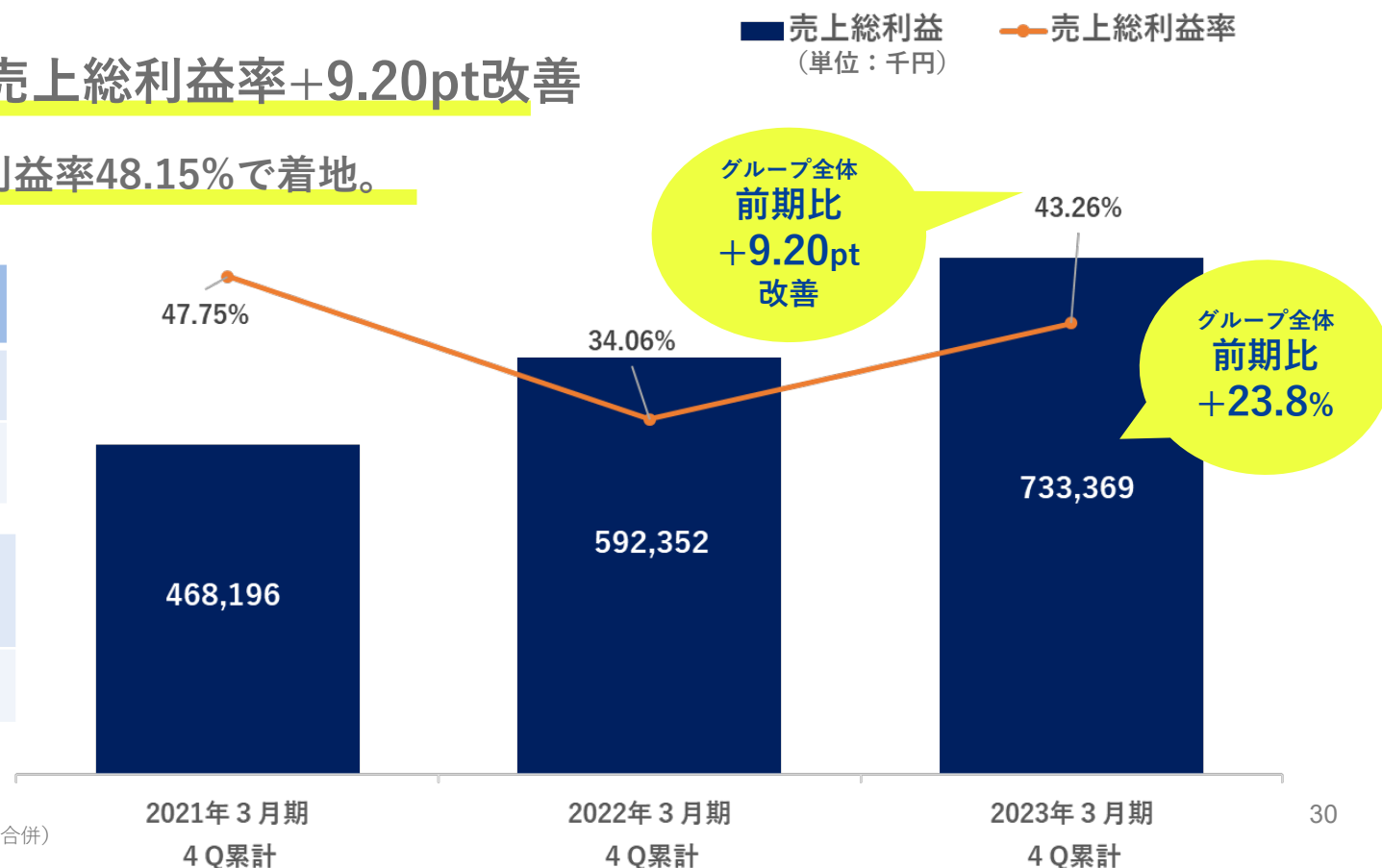
売上総利益実績（前期比）

グループ全体

+141,017千円の増加(前期比+23.8%) 売上総利益率+9.20pt改善

infoNetは受注/開発体制の見直しにより、売上総利益率48.15%で着地。

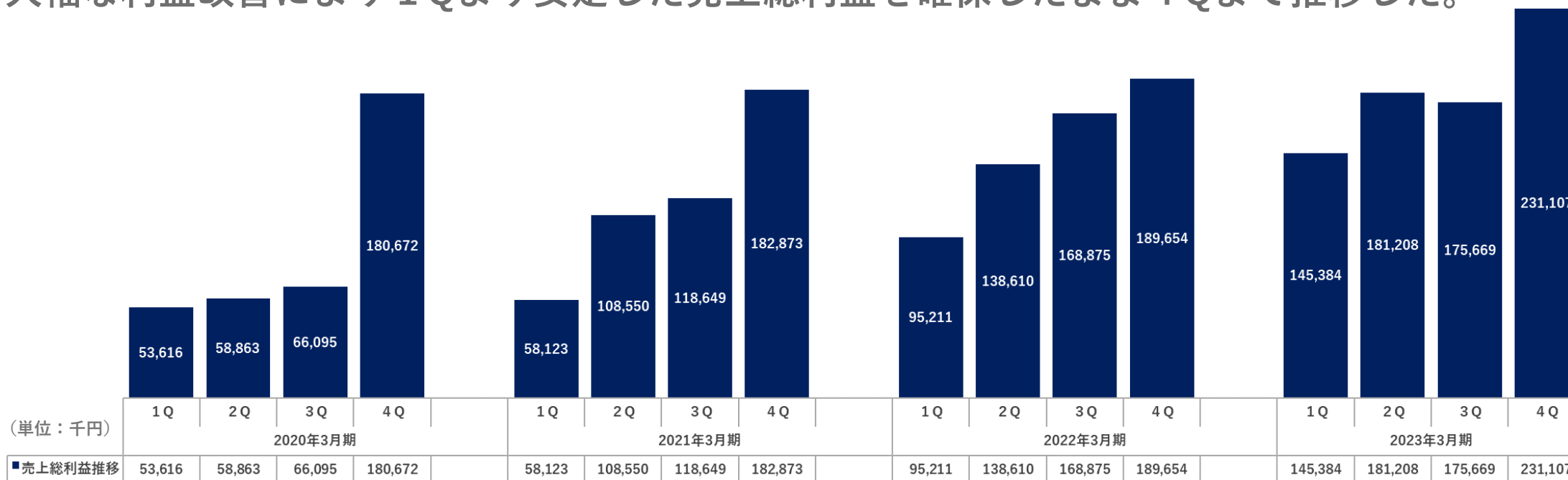
(単位：千円)	infoNet	IACT	デロフト	連結仕訳	合計
①売上総利益	454,991	274,680	-	3,697	733,369
売上総利益率	48.15%	36.60%	-	-	43.26%
②<参考>前期売上総利益	331,201	250,747	-	10,404	592,352
増減①-②	+123,790	+23,933	-	▲6,707	+141,017



※2022年3月期以降は子会社の業績を含む連結業績です。
 ※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、
 2022年3月期より進行基準に変更しております。
 ※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を含みます。(2022年3月期より吸収合併)

売上総利益推移

例年同様、下期偏重傾向は継続しているものの、前期比+23.8%（売上総利益率+9.20pt）の大幅な利益改善により1Qより安定した売上総利益を確保したまま4Qまで推移した。



※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、2022年3月期より進行基準に変更しております。

※2022年3月期以降は子会社の業績を含む連結業績です。

※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を含みます。（2022年3月期より吸収合併）

営業損益実績（前期比）

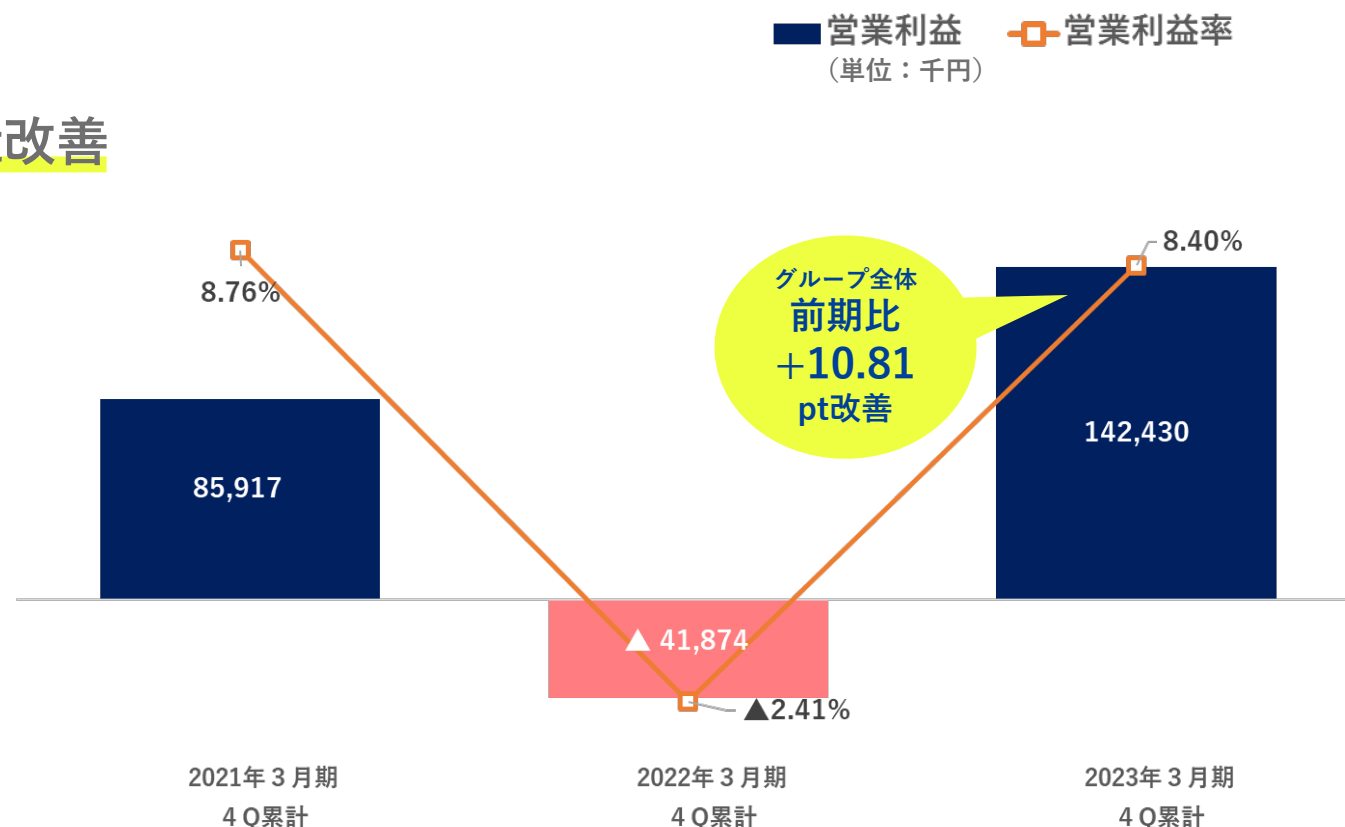
グループ全体

+184,304千円の増加 営業利益率+10.81pt改善

売上総利益の改善により営業利益率も大幅改善。

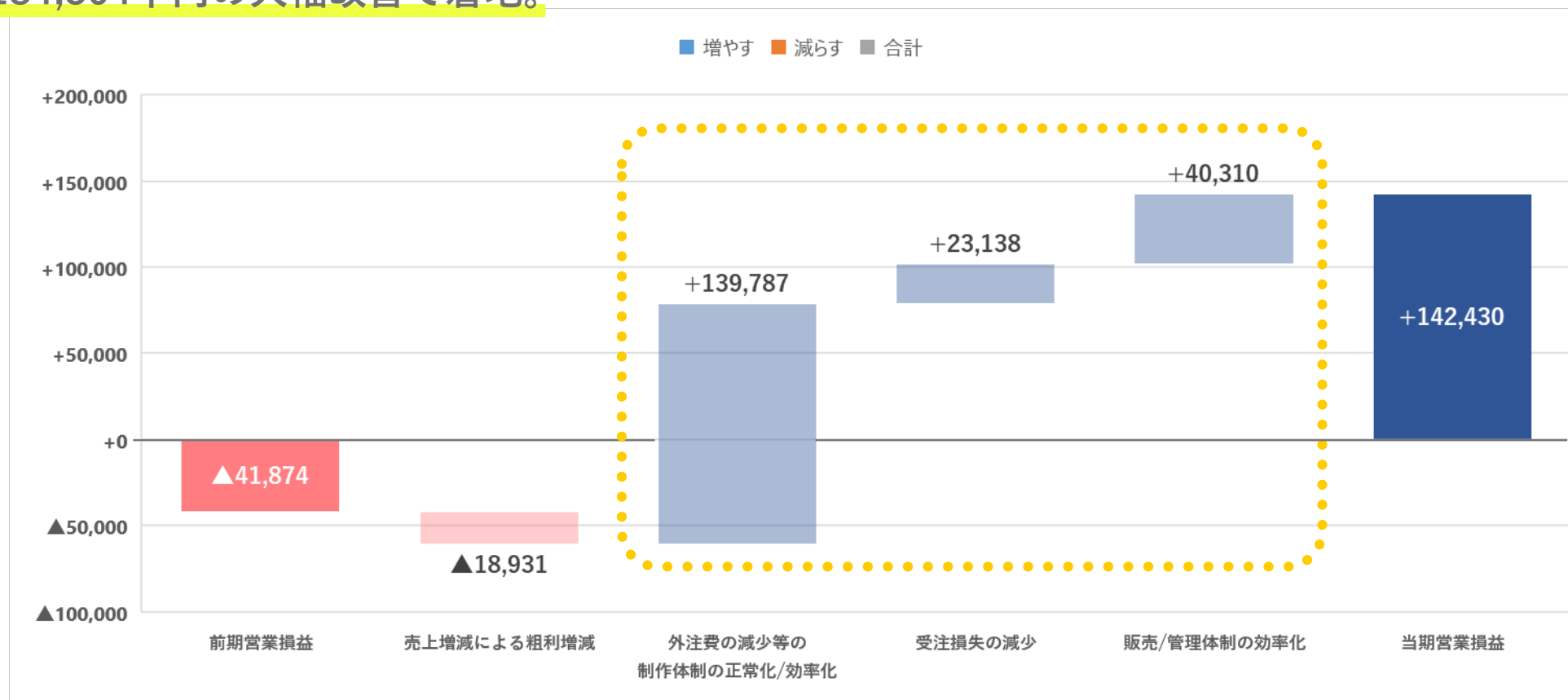
（単位：千円）	infoNet	IACT	デロフト	連結仕訳	合計
①営業利益	106,214	119,303	▲32,844	▲50,242	142,430
営業利益率	11.24%	15.90%	-	-	8.40%
②＜参考＞ 前期 営業利益	▲91,392	127,324	-	▲77,806	▲41,874
増減①-②	+197,606	▲8,021	▲32,844	+27,564	+184,304

※2022年3月期以降は子会社の業績を含む連結業績です。
 ※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、
 2022年3月期より進行基準に変更しております。
 ※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を含みます。（2022年3月期より吸収合併）



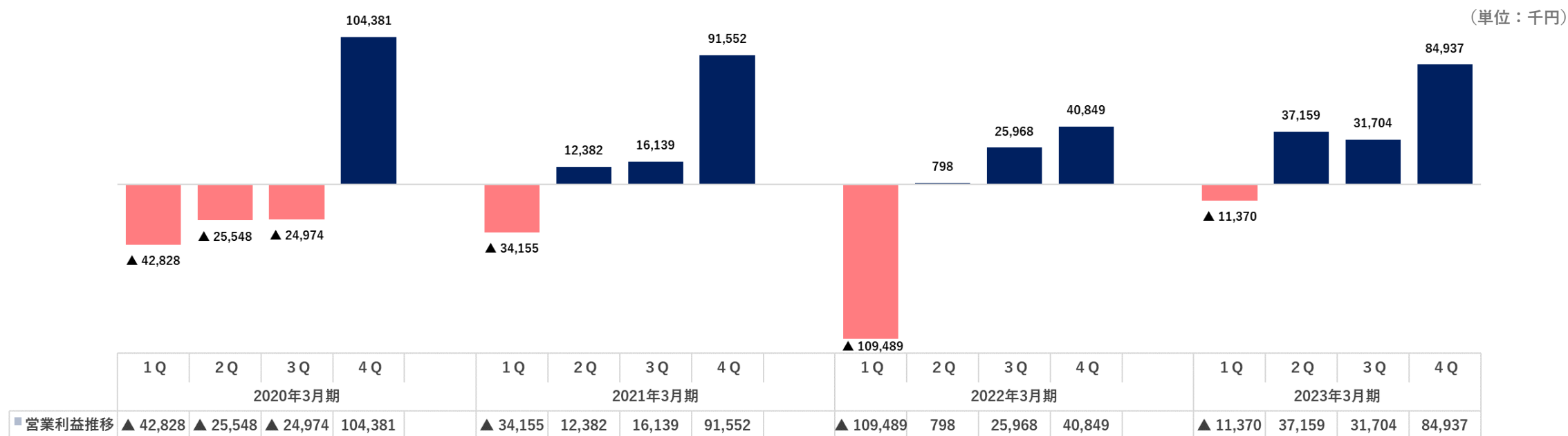
営業損益の増減内訳（前期比）

受注・開発体制の見直しによる外注費・受注損失減少、販管/管理体制の効率化を通年で維持。
+184,304千円の大幅改善で着地。



営業損益推移

売上総利益と同様下期偏重傾向は継続しているものの、2Qより黒字を維持。



※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、2022年3月期より進行基準に変更しております。

※2022年3月期以降は子会社の業績を含む連結業績です。

※2021年3月期のinfoNet実績にはスプレッドシステムズの実績を含みます。(2022年3月期より吸収合併)

4. SUMMARY

サマリー

4. SUMMARY

PL増減比較

※2022年3月期4Q累計および2023年3月期4Q累計は子会社の業績を含む連結業績です。

infoNet®

(千円)	①2021年3月期 4Q累計	②2022年3月期 4Q累計	③2023年3月期 4Q累計	増減額 ③ - ②
売上高	980,420	1,739,013	1,695,426	▲43,587
Web/CMS関連事業	966,703	1,562,355	1,472,771	▲89,584
AI関連事業	13,716	176,657	222,654	45,997
売上総利益	468,196	592,352	733,369	141,017
売上総利益率	47.75%	34.06%	43.26%	9.20pt
営業損益	85,917	▲41,874	142,430	184,304
営業損益率	8.76%	▲2.41%	8.40%	10.81pt
経常損益	90,912	▲57,406	139,677	197,083
経常損益率	9.27%	▲3.30%	8.24%	11.54pt
当期純損益	59,781	▲89,983	82,254	172,237
当期純損益率	6.10%	▲5.17%	4.85%	10.02pt

※2021年3月期までは納品検収基準の会計方針を採用していましたが、2022年3月期より進行基準に変更しております。

※Web/CMS関連事業売上高とAI関連事業売上高の合計に誤差が出ている場合がありますが、それぞれの数値を千円未満切り捨てとしているためです。

4. SUMMARY

BS増減比較

※子会社の業績を含む連結業績です。

infoNet®

(千円)	①2022年3月期 4 Q累計	②2023年3月期 4 Q累計	増減額 ② - ①
流動資産	1,096,631	1,015,327	▲81,304
固定資産	636,603	597,522	▲39,081
資産合計	1,733,234	1,612,849	▲120,385
流動負債	486,734	393,247	▲93,487
固定負債	420,050	288,970	▲131,080
負債合計	906,785	682,217	▲224,568
資本金	274,920	285,897	10,977
資本剰余金	254,920	265,897	10,977
利益剰余金	296,607	378,837	82,230
純資産合計	826,448	930,632	104,184
負債・純資産合計	1,733,234	1,612,849	▲120,385

※合計に誤差が出ている場合がありますが、それぞれの数値を千円未満切り捨てとしているためです。

5. 2024年3月期 業績予想と主な活動方針

5. 2024年3月期 業績予想について

個別

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績(A)	2024年3月期 業績予想(B)	増減 (B-A)
売上高	944	1,144	200
売上総利益	454	562	108
売上総利益率	48.15%	49.17%	1.02pt
営業損益	106	118	12
経常損益	127	141	14
当期純損益	94	110	16

連結

(単位：百万円)

	2023年3月期 実績(A)	2024年3月期 業績予想(B)	増減 (B-A)
売上高	1,695	1,944	249
売上総利益	733	846	113
売上総利益率	43.26%	43.54%	0.28pt
営業損益	142	177	35
経常損益	139	153	14
当期純損益	82	90	8

マイナス体質は脱却した。次は^{プラス}と^{かける}×を生み出す活動に投資。

1

新CMSメジャーバージョンアップ完了予定（2024年4月）

2

新規サービス・プロダクト開発の専任部隊となる「事業推進部」新設

3

新Web周辺プロダクト開発およびMEGLASS finderバージョンアップ

4

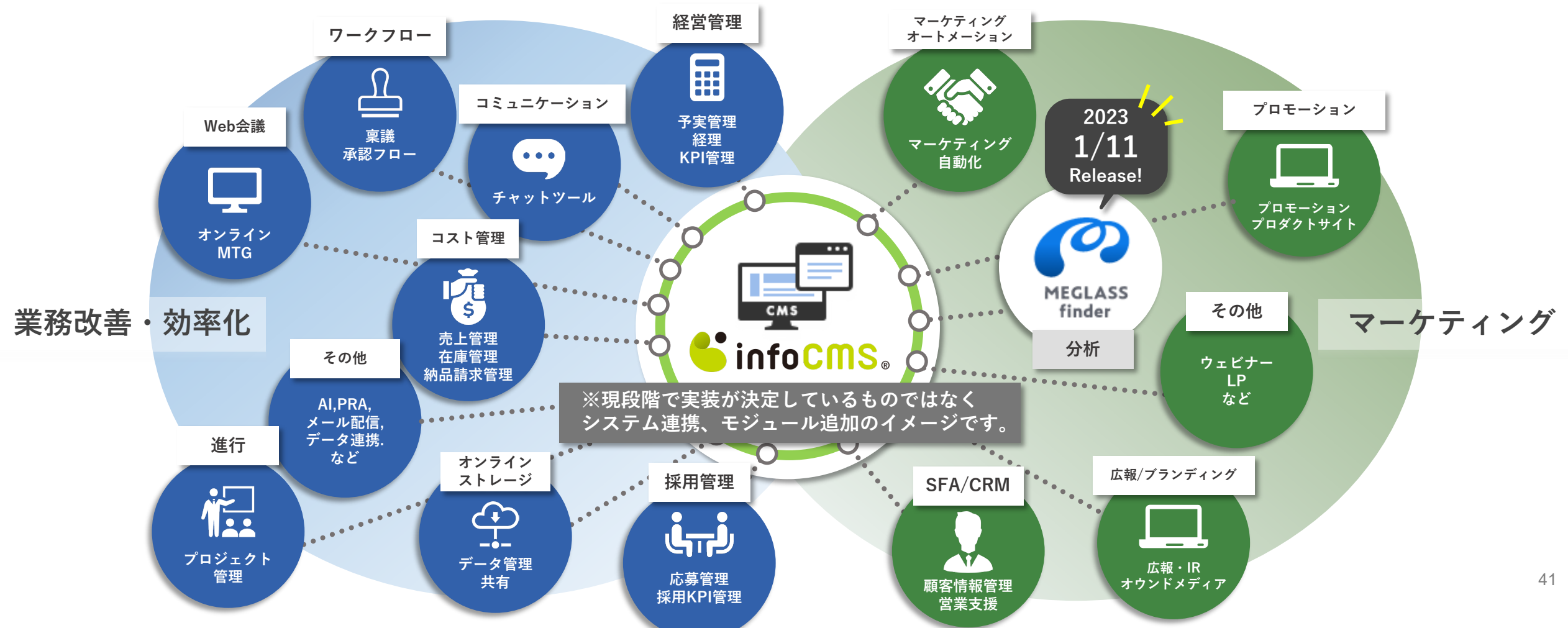
アイアクトとの連携強化（開発/セールス）

5

ChatGPTをはじめとするAI技術をサービス開発および自社業務改善に積極的に活用

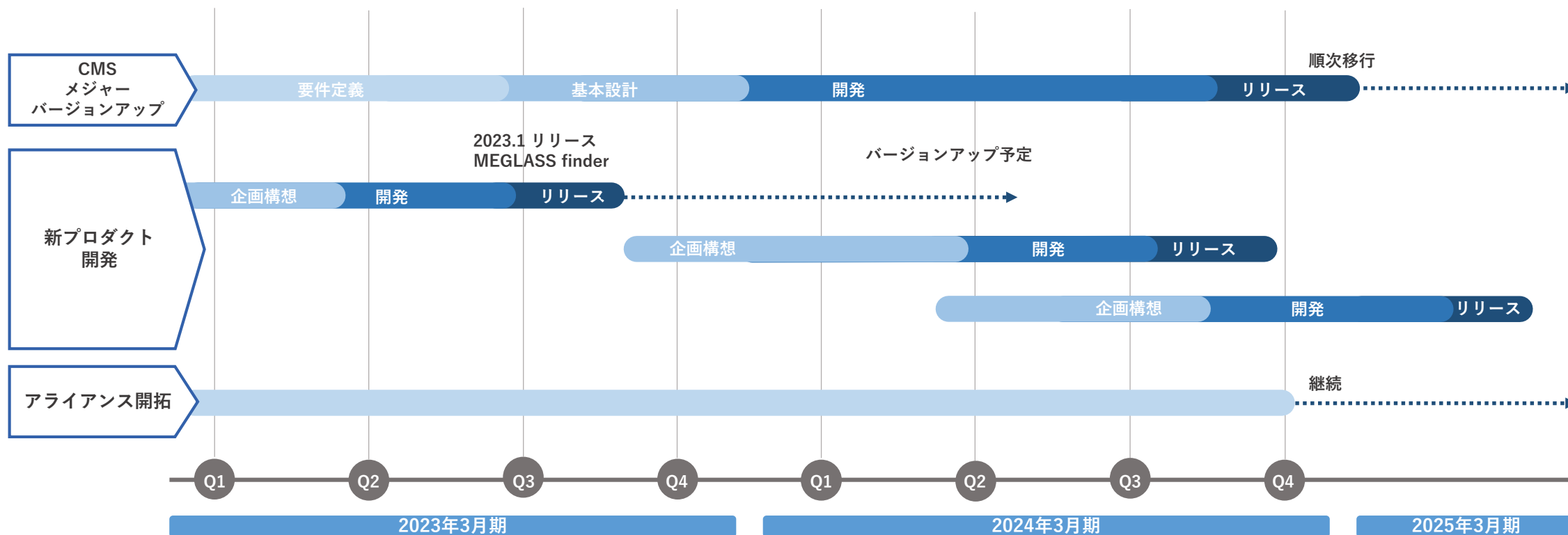
5. プロダクト成長イメージ

Webサイトを構築するだけのCMSに留まらず、CMSをハブとした周辺サービス連携のコンサルティングによるDX提供へ
当社のサービス領域を拡大。モジュールをAPI連携で追加実装しやすいつくりによりリニューアルし、企業活動に欠かせない
「マーケティング」「業務改善/効率化」両面の実現を構想しています。（モジュールは自社開発およびアライアンス強化により拡充予定）



5. マイルストーン

プロダクト成長イメージを実現するため、CMSのメジャーバージョンアップとモジュール拡充に向けたプロダクト開発およびアライアンス開拓を推進中。



※現時点での見込みを示したものであり開発状況等により変動する場合があります。

免責事項

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。

当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的 にも黙示的 にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報及び財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な経済動向に関する統計情報及び調査結果、外部情報に由来する他社の情報が含まれています。当社は、これらの情報に由来する情報の正確性及び合理性について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもその正確性及び合理性を保証するものではありません。また、他社に係る事業又は財務に関する指標は、算定方法や基準時点の違いその他の理由により、当社に係る同様の指標と比較対照性が無い可能性があります。